



2017. 8. 1

8月ようちえんだより

西神戸YMCA幼稚園

戸外では真っ青な青空に白く分厚い入道雲がもくもくと立ち上り、降りしきる蝉の鳴き声もいっそう夏の雰囲気醸し出しています。先日、近畿地方では梅雨が明け、いよいよ夏本番に突入しました。7月中も全国各地で猛暑日を記録しており、今年は例年以上に暑さが厳しくなる予報です。夏休み中も暑さ対策には充分ご注意ください。

さて、今月の聖句はベタニア村に住むマルタとマリアという姉妹がイエスとその弟子たちの一行を家に迎え入れたとき、忙しく一行をもてなす姉マルタが何もせずにイエスのそばで話に聞き入る妹マリアへの不満をつい口に出してしまうと、それに対してイエスが「マルタ、マルタ、あなたは多くのことに思い悩み心を乱している。しかし、必要なことはただ一つだけである。マリアは良いほうを選んだ。それを取り上げてはならない」と、諭す箇所です。ある意味必死で一行をもてなそうとしているマルタにとって、何もしないマリアが良しとされるというのはとても理不尽なことだったかもしれません。私たちも日々の生活や仕事に忙殺され余裕をなくしてしまうことが多々あります。様々なことが気になり、焦り、仲間たちの行動にも不満や苛立ちをお覚えたりします。そんな時は優先順位が定まらず本当に大切なことをついつい見失ってしまいがちです。そして、多くの労力を必要の無いことに傾けてしまっているのかもしれない。

人間にとっては、それぞれの成長の時期に応じて、その時にこそ経験しておくべき大切なことがあります。特に幼児期に経験することはその後の成長に大きく影響することは言うまでもありません。幼児期には様々な興味や関心が原動力となって、自ら動き出し、観察し、知識としてではなく、自分を取り巻く環境を自らの五感を通して感じていきます。まさしく、「子どもの仕事は遊び」と言われるように、子どもにとっては遊びそのものが、人間として必要な様々な感性を養っていく手段であるわけです。しかし、昨今、少しでも早く先んずることが人生の成功に繋がるかのように、様々な『早期教育』が宣伝されています。あたかも、それを経験しないことで取り残されてしまうかのような言い回しです。度合いにもよりますが、結果、本当に経験しなくてはいけないことを十分に経験できないまま大人になってしまっていた。気がつけば人と付き合うことが苦手で、感性が乏しく、言われないうちにも何も出来ない大人になっていたことにもなりかねません。

西神戸YMCA幼稚園では子どもたち一人ひとり、その子の成長にとって、本当に必要なものは何か、何が大切なのかを見極めることをとても大切にしています。そして、そのことを保護者の皆さんとともに考え、子どもたちと向き合っていくことができるよう願っています。

年主題 『愛されて育つ』

<年主題聖句> 「あなたがたは神に愛されている子供です。」

(エフェソの信徒への手紙5章1節)

7月主題 『やってみる』

<聖句> 「しかし、必要なことはただ一つだけである」

(ルカによる福音書10章42節)